

大盛況の「ひらの棚田の稲刈り体験と散策」



平成26年から毎年、棚田米の収穫時期に合わせて開催しています。今年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、例年は120人以上の来場者でにぎわう人気のイベントです。

「ディスカバー農山漁村の宝」に選定！



地域活性化活動の全国優良事例として、ひらの棚田米振興協議会が選定され、平成29年11月に首相官邸で選定証授与と式と交流会が開催されました。交流会では、安倍晋三前首相が真っ先にひらの棚田米で作ったおにぎりを試食し、小園会長らと棚田や米作りについて話しました。

より広く魅力を発信！

協議会設立の翌年、幡船の里やオープンしたばかりのフードウェイなどで、宣伝を兼ねた試食販売会を開催。おいしさが評判を呼んで徐々に販路を拡大し、リピーターを増やしながら市内外の飲食店6店舗へ卸すようにもなりました。

さらに、2kg、5kgとキロ数に応じた商品販売や赤ちゃんの出生体重分の米を詰めることができるオリジナルギフトも魅力的。「オリジナルギフトは、水車で6時間かけて精米しています。よりやわらかな口当たりが楽しめるので、お客さまにも大変喜ばれています」と小園会長は笑顔で話します。

平成26年からは稲刈りと、棚田米で作ったおにぎりや猪汁などを楽し



▲西多久ブランドの“ひらの棚田米”



▲家族や夫婦での参加も多い稲刈り体験

めるイベント「ひらの棚田の稲刈り体験と散策」を始めると、市外からも多くの人が参加。さらなるにぎわいを呼んだことで注目を集め、平成27年からは西多久町のまちづくり団体「西多久町を考える会」と協力しながら、西多久町全体でひらの棚田米を通じた地域活性化に取り組んでいます。その際、保存にとどまらず振興していくことが大切なのだという思いを込めて、名称を「ひらの棚田米振興協議会」に改めました。

問い合わせ
ひらの棚田米振興協議会
☎75-5729

ホームページは
コチラ

多久市全体の活性化へ

今年には活動開始から10年目を迎え、会員数が増えたほか、協力者も大幅に増加。出荷量と売り上げも平成24年と比べ約7倍にまで増え、米農家のみなさんの「良い米を届けた」という意識の高まりにもつながっています。

「棚田米のおいしさを楽しんでいただけるように、選りすぐってブランド化したことが西多久町の活性化へとつながって嬉しいです。今後は町外の多久市民のみなさんにも「ひらの棚田米」というブランドをさらに広め、農地オーナー制などの新たな試みも視野に、仲間を増やしながら西多久の地から多久市全体の活性化へ取り組んでいきたいですね」と、小園会長たちの棚田米を生かした活動は続きます。